

藤岡義英議員の6月県議会での質問と答弁の要旨を紹介します。一般質問、答弁の全文はホームページの**議会の様子**から、質問の動画は右のQRコードよりご覧いただけます。



＊ ＊子どもの医療費助成制度について＊ ＊

藤岡 子育て支援に対する重要性もあり、県として、福祉医療費給付事業検討会を開き市町村と話し合い、通院の助成を中学卒業まで拡充、自己負担を廃止し完全無料の現物給付とすることに踏み切るべきだ。

知事 中学まで自己負担をなくすには、10億円程度の財源が必要。子育て政策で求められてる部分は沢山あり、色んな観点があるので、幅広く検討する中でどこに重点的に配分していくことが、最も今の時点に求められているのかということを考えていきたい。

＊ ＊教育費の保護者負担の軽減について＊ ＊

藤岡 学校徴収金以外のいわゆる隠れ教育費について、教育長はこの負担の実態について「家庭事情に踏み込むため調査・把握は難しい」としているが、実際に困っている保護者の声に対して無責任。現状を調査すべき。

教育長 令和5年2月定例会で毛利議員にお答えしたとおり、…難しい。

藤岡 「入学時に50万円を準備...仕事はトリプル...学校へ就学支援金の申込用紙の提出時に課税証明書も提出...その時点で家庭事情わかっている。色んなところで踏み込んでくるのになぜここ（調査）では踏み込めないのか」「物価高できついが、買わざるを得ず、逃げ場がない」との切実な保護者の声。実態把握と保護者負担軽減のための取組を！（また、スマホとタブレットの2重持ちの負担が重いという切実な実態を伝え、タブレットは公費の貸与にすべきだと求めました）

＊ ＊米軍機の低空飛行への対応について＊ ＊

藤岡 2019年の要請から3年以上経過しているが、未だに米軍機の低空飛行が続いている。今年3/15、20、4/5、5/4に4回、目撃情報が寄せられている。これら4日間の飛行物体は何だったのか。北関東防衛局から事前連絡はあったのか。

危機管理部長 米軍機かどうか明確な回答はなかった。事前の連絡はなかった。

藤岡 県の要請が全く受け止められていない異常な状況だ。政府に要請しても事態は改善されていない。知事が自らの日米軍に対して直接要請すべきではないか。

知事 近年何か非常に不安をかきたてられるような飛行が頻発しているような状況では必ずしもない。どこに誰に何を要請するかは状況を踏まえ判断していく。

藤岡 バルーンフェスティバルでは2年連続で米軍機が飛行しており、危機感を感じる。なにかあってからでは遅い。その前に手を打つべきだ。

＊ ＊質問を終えて＊ ＊

米軍機の低空飛行に危機感ゼロの知事答弁。相変わらず県民の願いとかけ離れた県政だと実感。他国との違いを紹介し、低空飛行が続いている実態は異常過ぎることを明らかにしました。

